

問 空き家の中には適切な管理が行われていないため、老朽化による安全性の低下、防犯上の問題、景観や衛生面の悪化等、多岐にわたる多くの問題が生じます。地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがあります。今後、空き家が増加すれば、問題点や課題が一層深刻になると考えられます。空き家問題は、重要政策に取り入れるべきです。現在の空き家数は216とお聞きしています。

①今後の空き家の活用や検討課題等について

②老朽危険空き家の今後の対策と補助事業の強化等について

により、野菜作りの楽しさ、収穫の喜び、新鮮野菜を使った賄い料理、日々の管理の苦しさも忘れ、食卓もにぎわうものと思います。

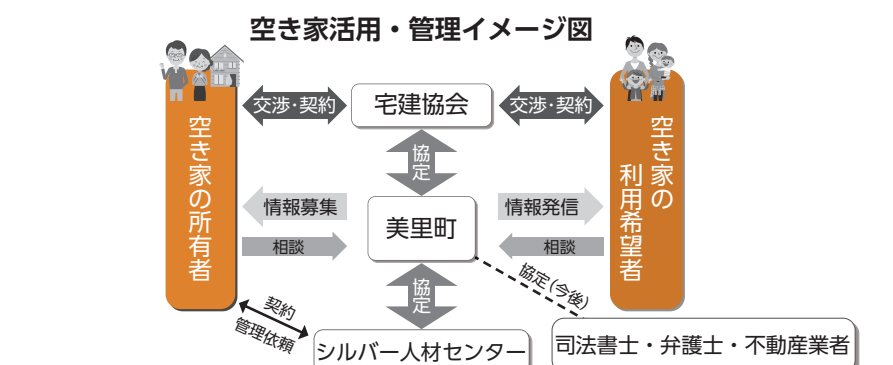
県内のシェア畑、市民農園には、農具や苗、肥料、また水道が完備されており、経験豊かなアドバイザーが勤務しているため、初心者の方でも手軽に、安心してスタートできるそうです。多くの市民農園では、農具や肥料、種苗を自分で用意する必要がありませんが、町長の見解をお聞きします。

②現在、危険老朽空き家の補助事業の申請を受け付けていません。補助対象となる空き家は、現地調査において判定し、主な要点は、基礎・外壁の程度や基礎、土台、柱、梁の腐朽・破損の程度、老朽化や倒壊の危険性、防火上、避難上の構造の程度、落下、飛散危険物、近隣への危険度、不法侵入、接道状況などです。評価が合計180点満点中100点以上で危険老朽空き家と判定されます。

③平成29年12月に美里町における空き地の利活用等に関する宅協協会との協定、シルバー人材センターと、空き家等

の適正な管理の推進に関する協定を締結しました。シルバー人材センターとの協定では、近隣所有者だけでなく、遠隔地の所有者にも空き家の管理の相談や雑草、樹木の伐採、修繕等依頼できるようになっています。危険老朽空き家と判定した場合には、取り壊しを希望する所有者に対し、関係各団体と連携し、支援体制の強化に努めます。

④町長の諮問に応じて調査審議するための第三者機関です。空き家適正管理審議会設置に向け、併せて関係条例の整備が必要と考えています。



問 老朽危険空き家の撤去補助支援強化対策及び空き家適正管理審議会の設置等について

答 所有者への支援強化体制づくり及び空き家適正管理審議会の設置や関係条例等を整備したい(町長)

日常的に農業に触れることができたい方には、農業を楽しむ場や子どもたちの農業体験の場として、農業を楽しむ小さな面積を提供して、野菜や花を栽培し、成長過程や収穫等、新鮮な野菜を自給する場であるのももちろんのこと、地域コミュニティの創出、景観維持など社会的価値が非常に高く、意味することは大きいと思われます。

遊休農地の活用、市民農園を適正かつ円滑に推進する措置を講ずることにより、健康でゆとりのある生活に資するとともに、良好な環境形成と農村地域の振興が図れると思われれます。これらを行うこと

し、収穫の喜び、新鮮な野菜を食べる感動などを体験できる市民農園を開設したいと考えています。まずはモデル的に実施したいと考え、現在有限会社みりのりと調整を始めています。このモデル事業では、単に区画を用意するだけではなく、農作物を付する上で大切な土作りから、鍬や鎌といった農具の使い方などの多岐にわたる指導を行い、良い作物を収穫していただきたいと考えています。みりりには、そういった内容の一翼を担っていただき、農機具の貸出しも含め、しっかりと指導をしていただくよう依頼しているところです。

し、収穫の喜び、新鮮な野菜を食べる感動などを体験できる市民農園を開設したいと考えています。まずはモデル的に実施したいと考え、現在有限会社みりのりと調整を始めています。このモデル事業では、単に区画を用意するだけではなく、農作物を付する上で大切な土作りから、鍬や鎌といった農具の使い方などの多岐にわたる指導を行い、良い作物を収穫していただきたいと考えています。みりりには、そういった内容の一翼を担っていただき、農機具の貸出しも含め、しっかりと指導をしていただくよう依頼しているところです。

インフラ整備についても、水道とトイレは必須であると考えており、また、農機具等を貸し出すことになるため、物置を必要とします。これらのことを考慮すると、市民農園の場所の選定に苦慮するところですが、まずはみりりの作業場近くでモデル事業を実施していきます。将来的には、各集落で1か所程度の市民農園を開設したいと思っています。



問 町が現在検討している市民農園について

答 モデル事業を実施し将来的には各集落に1か所程度開設したい(町長)

問 全国の市町村で書かない窓口の開設が増えています。

住民票の写しをはじめ印鑑登録証明書や戸籍謄本など、本人申請による証明書発行の申請が対象で、証明書ごとに申請書類を記入していた町民の負担を軽減するとともに、申請書類の書き間違いをなくし、職員の業務負担が軽減される狙いでもあります。

その中で、おくやみコーナーを設置している自治体も大変多くあります。

家族が亡くなった後の手続きが非常に煩雑で、複数課での手続となるので、時間も大変にかかります。家族（配偶者

や親）が亡くなった後、遺族が行う行政手続の負担を軽減しようと全国の自治体の間で専用の窓口を設置し、おくやみコーナーとして設けています。そこで、今後本町での導入などの対策を町長にお伺いしたいと思います。

町長 美里町においては、現在このおくやみコーナーを設置する予定はありませんが、少しでも遺族の方の負担を軽減できるよう、死亡届を受理する際に、役場等での諸手続が一覧となった手続き窓口案内を配布しています。この一覧には、15種類の手続について、その内容や事前を用意していただく書類、担当

課の連絡先を記載し、ご遺族が手続に来庁されたときは、この一覧表に沿って、それぞれの手続に必要な担当職員が、ご遺族のいる窓口まで出向き、順次対応しています。このようなことから、ご遺族が各課へ移動することなく、ワンストップで手続が完了する仕組みとなっております。職員移動型のおくやみコーナーとも言えると考えています。

新しい内閣でデジタル相ができたということで、町もこれからデジタル化に向けた事務の効率化は、恐らくいろいろな形で進めることになるのだらうと思います。

ICTを使った効率化につ



役場等での諸手続が一覧となった「手続き窓口案内」を配布しています。

問 役場の窓口業務の簡素化について

答 ICTを使った効率化で、住民の要望に迅速に応えられるように考えています(町長)

いては、もう時代の流れです。住民のご要望に迅速に対応できるように考えていきます。



問 安心安全な医療体制の整備について

答 医療は重要。医療法人等の進出希望があれば積極的に対応したい(町長)

問 1 健康で長生きが幸せへの第一歩と思えます。町民が質の高い医療・介護サービスを受けながら、地域で安心して暮らせる環境・体制を整備することが、今、町に強く求められています。

人の寿命は、いろいろな事情等によって定まっていますが、考える人もいますが、その一方で、医療の発展・生命科学の著しい進歩や救急搬送・救急医療等により、寿命は大きく伸びています。

2 救急指定病院は、24時間365日救急医療体制が求められています。また救急患者対応のため外科・内科担当等

の複数医師の当直等も求められています。

さらには看護師を多数配置する必要があり、高度医療機器の24時間常時運用も必要であることなどから、専門医不在・空きベッドがない等として、救急患者の受け入れに消極的な状況もみられ、中には、救急指定病院からの撤退・辞退等を申し出ている病院もあるとお聞きしています。

3 その一方で、医師・医療が足りない医療過疎地域に24時間365日、救急医療を提供する病院を作り、地域の活性化、安心安全を図ることを目的としている医療法人があ

るとお聞きしています。同病院は、外来診療が中心のクリニックで新生児から超高齢者まで、また、軽症者から重症患者まで24時間365日診察しているとのこと。

この医療法人は、過疎地や医療体制の十分でない地域に救急指定病院を開設したい意向ですが、町長の意見等、答弁を求めます。

4 また、近隣市町においても病院整備等に努力しており、小鹿野町には町立の病院、また、伊勢崎市には市民病院もあります。美里町の医療体制の整備・充実・誘致等について、町長の答弁を求めます。

町長 県の情報によると、本庄市内に救急医療に対応する有床診療所の整備計画があり、令和3年11月に開設予定と聞いています。

町としては、充実した医療は重要であると認識していますが、独自に病院を誘致して建設運営することは、財政的にも厳しく、医療法人等の進出希望があれば、本庄市児玉郡医師会と連携を図り、検討すべきと考えています。

また、脳卒中等の回復期リハビリテーション病床が、人口10万人当たり県内で一番少ない現状があり、リハビリ専門の病院を町としても積極的に、手を挙げてくれる人がい



保健員の提案のように小茂田又は下児玉地区に大規模病院ができるといいね！ 詳細は、議事録をみてね♪



問 分散登校で経験した少人数数学級を新たな日常へ

答 教職員定数の改善、少人数数学級を県に要望します(教育長)

問 私の母校でもある東児玉小学校へ、今年の短い夏休みが終わった頃、お話を伺いに行きました。内容は、半数の少人数の生徒で行われた授業の様子を伺いました。

コロナウイルス感染症の影響で約3か月の休校を強いられ、その後、子どもたちの安全確保のため、分散登校が2週間行われました。1つのクラスが約半分に分かれ、午前の部、午後の部と授業を行いました。

少人数で行われた授業は、子どもたちの集中力がよく、先生方も授業がやりやすかったとお答えをいただきました。大変だった話も伺いました。

美里町教育委員会は、埼玉県都市教育長協議会、埼玉県町村教育委員会、埼玉県町村教育委員会連合会

教室の掃除・トイレの掃除は、感染防止の観点から先生方が行っていたそうです。生徒が帰った後など、机と椅子のアルコール消毒を午前と午後2回行ったそうです。

分散登校により、少人数のおかげで密を避け、一人一人に目が届く、丁寧な授業ができました。ならば、少人数級を新たな日常にすればいいと考えます。コロナウイルス感染症が迫る中、早急の少人数級への行動を起こしてほしい。

美里町教育委員会は、埼玉県都市教育長協議会、埼玉県町村教育委員会、埼玉県町村教育委員会連合会

から成る3団体を通して、学級編制基準及び教職員定数の改善、少人数級・少人数指導を行うための教職員配置の拡充を県に要望します。

問 教員の変形労働時間制は

来年4月1日から施行のため、政府はコロナウイルス感染症のどさくさ紛れに、省令、指導方針を策定しました。現場の教師は、今でも残業、残業で閑散期などありません。休暇をまとめて取る余裕もないし、この仕組みを取り入れると、先生の過労状態がますます深刻になるのではないかと心配です。

来年4月1日から施行のため、政府はコロナウイルス感染症のどさくさ紛れに、省令、指導方針を策定しました。現場の教師は、今でも残業、残業で閑散期などありません。休暇をまとめて取る余裕もないし、この仕組みを取り入れると、先生の過労状態がますます深刻になるのではないかと心配です。

教職員が持てる力を最大限発揮し、生き生きと子どもたちの指導に専念できるように、教職員の多忙化解消・負担軽減を進め、教育の質の向上に引き続き取り組み、変形労働時間制については県の動向を注視していき、美里町教育委員会として研究を進めたいと思います。



問 コロナ禍に伴い計画のアップデートが必要だと思いませんか？

答 第5次総合振興計画後期基本計画の策定を進めています(町長)

問 第5次美里町総合振興計画5つの基本目標である人づくり、仕事づくり、暮らしづくり、環境づくりですが、全てがコロナ禍、そして今後のニューノーマルの時代に、少なからずそぐわなくなっています。仮にコロナ禍がなかったとしても、4年前のものだと、時代とのギャップを多少感じるころがあります。アフターコロナ後の美里町ニューノーマル総合振興計画にアップデートしていくことが必要だと思えますが、町長のご意見をお聞かせいただけますか？

基本計画に合わせ、第2次総合戦略及び国土強靱化地域計画の策定作業も進めています。これらの計画策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響について位置づけることになるかと思えます。

問 デジタルの行政サービスがしっかりと、町に魅力が出るということは間違いなく思っています。デジタルの遅れというのは本当にこれから町を左右する一つの指針になると思っています。町長はどのくらいの重要度を持ったこのデジタル化を進めていくのかお聞かせいただけますか？

なかなかICT関連のシステムにお金をかけるといのが負担になりますので、共同化でうまく経費を浮かせられるような方法を検討しながら、いろんなところとのモデル的な協力関係を結びながら、逆に安く導入をするというようなことも考えながら進めていきたいと思えますので、新井議員さんからもこんなことをやったらどうか、またこういう会社と提携したらどうというように指導がありましたら、いただければありがたいと思えます。

町の中にICTの部署をつくるというのはどうなのか、お聞かせいただけますか？

ればと思えます。

ICTの部署に関しては総合政策課の中で対応しています。どうしてもやっぱり司令塔になる部署を置いて、それぞれの担当でやるという形にしないと、今までやってきて動かなくなってしまう。

ですので、総合政策課は人事と予算と企画を持っていますので、今の状態では、今のままの形で、何か新しいものを動かすときには、そこも一緒にやりながら動くという形が今のところはベストかなというふうには考えています。

